

# 令和2年度とよかわデジモニ第3回アンケート結果

## 「第6次豊川市総合計画の改訂に関するアンケート」

### 概要

#### ■目的

第6次豊川市総合計画は、市民の皆さまが将来にわたって豊川市で安心して幸せに暮らすためのまちづくりのあり方を描くもので、平成28年度（2016年度）から令和7年度（2025年度）の10年間の計画であり、今年度（令和2年度）は中間年次にあたるため、SDGsに関する取組をはじめ、昨今の社会情勢などを考慮し計画を改訂する予定です。

今回、市民の皆さまのご意見を計画の改訂にあたっての参考とさせていただくために、「第6次豊川市総合計画の改訂に関するアンケート」を実施します。

#### ■アンケート対象者

令和2年度とよかわデジモニ モニター100人

#### ■回答期間

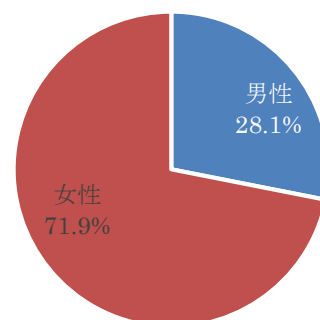
令和2年9月11日（金）から9月25日（金）まで

#### ■回答者数（回答率）

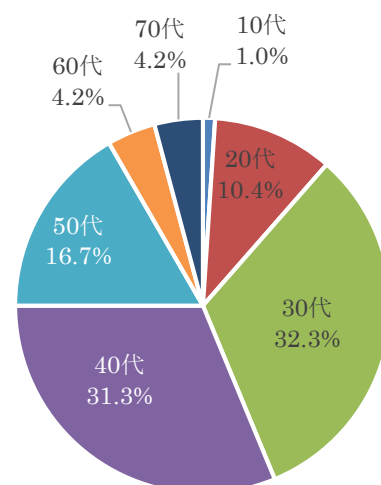
96人（96%）

#### ■回答者の内訳

性別	回答数	%
男性	27	28.1
女性	69	71.9
合計	96	



年代	回答数	%
10代	1	1.0
20代	10	10.4
30代	31	32.3
40代	30	31.3
50代	16	16.7
60代	4	4.2
70代	4	4.2
合計	96	



※比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。

このため、合計が100にならない場合があります。

## 担当課の総論

「豊川市は住みよいまちだと思いますか」（問1）について、回答者の94.8%が「住みよい」または「どちらかといえば住みよい」と回答がありました。

「おおよそ5年後に豊川市がどのようなまちになってほしいと思いますか」（問4）については、「福祉・保健・医療サービスが充実したまち」と答えた方が最も多く50.0%となり、続いて「子育て・教育環境に優れたまち」44.8%、「買い物など日常生活が徒歩や公共交通で済ませられるコンパクトで便利なまち」43.8%という結果でした。

「SDGsという言葉を知っていますか」（問5）について、「聞いたことがない」との回答が52.1%となる一方で、知っている方のうち、「知っていて、意味も理解している」が15.6%、「知っていて、意味は何となくわかる」が13.5%、「聞いたことはあるが、意味は知らない」が18.8%であり、知っている方でも理解度は様々であることがわかりました。

「新型コロナ感染予防のためにしている取組のうち、最も重要視している取組は何ですか。」（問8）については、「手洗い・うがいやアルコールによる手や指の消毒をする」が68.8%で最も多く、「新型コロナ感染症対策として必要と思う政策は何ですか」（問9）では、「3密対策を実施した快適な空間の創造」が59.4%と最も多いことから、ウィズコロナ、アフターコロナの時代に向けた社会環境の整備が求められていることがうかがえます。

「これからのまちづくりに対するアイデアやご意見」（問10／自由意見）については、様々な分野に対して多様なアイデアやご意見をいただきました。いただいたご提案等については、担当部局と情報共有を図るとともに、第6次豊川市総合計画の改訂作業において、参考とさせていただきます。

企画政策課

※比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。

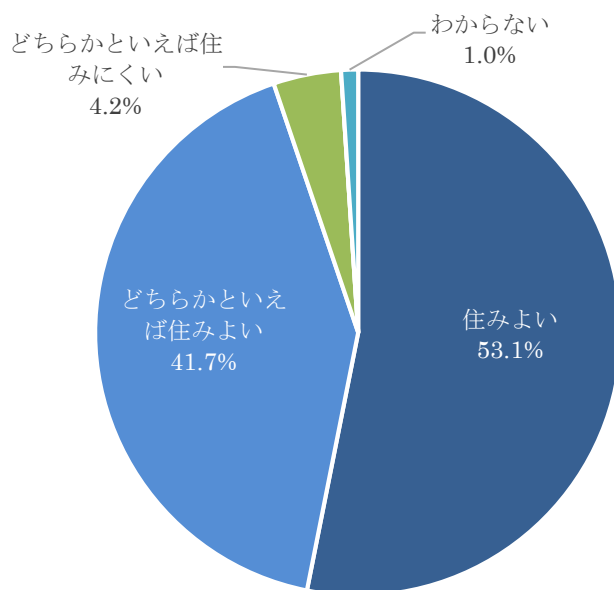
## アンケート集計結果

※比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。このため、合計が100にならない場合があります。

※その他・自由意見については、原則ご記入いただいた原文のまま記載をしていますが表記誤りなどについては訂正し、アンケート内容と関係ない意見については掲載しない場合があります。

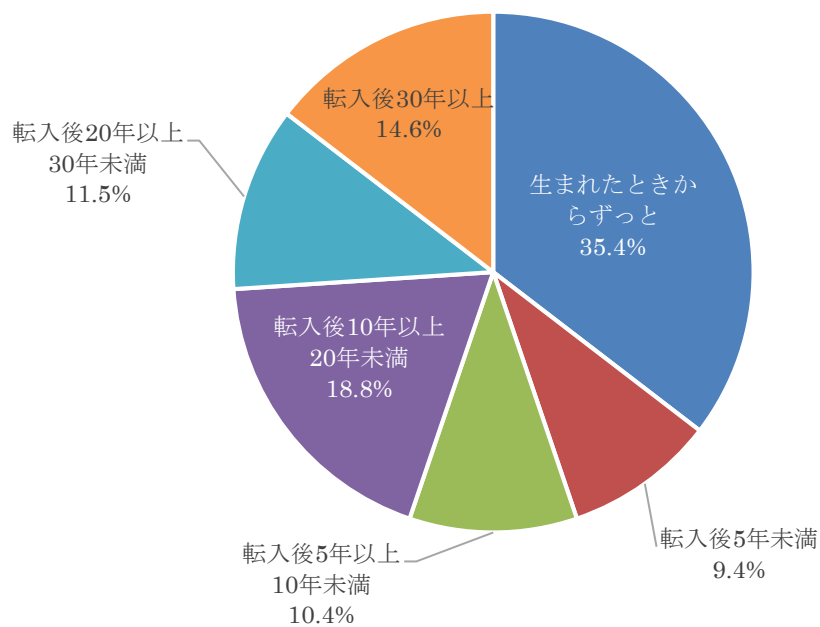
### 【1】豊川市は住みよいまちだと思いますか(1つ選択)

項目	回答数	%
住みよい	51	53.1
どちらかといえば住みよい	40	41.7
どちらかといえば住みにくい	4	4.2
住みにくい	0	0
わからない	1	1.0
合計	96	



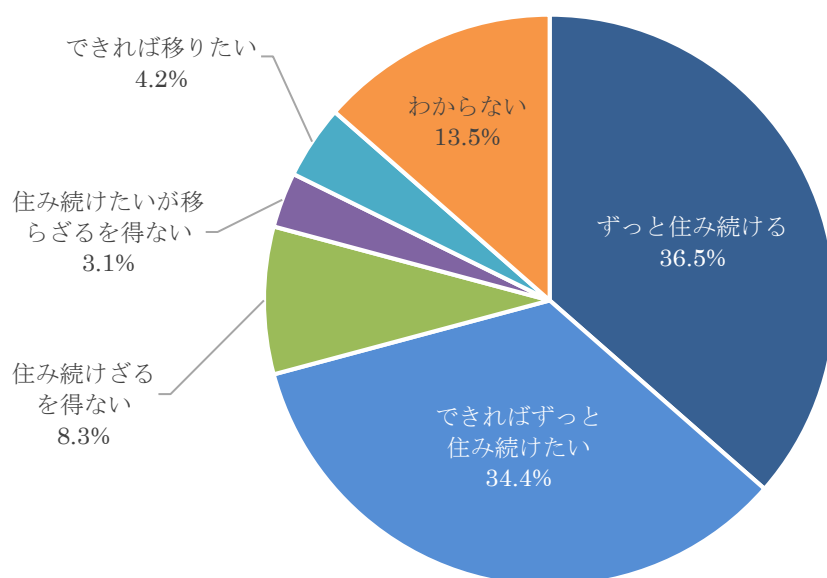
【2】あなたは、豊川市にお住まいになって何年になりますか(1つ選択)

項目	回答数	%
生まれたときからずっと	34	35.4
転入後5年未満	9	9.4
転入後5年以上10年未満	10	10.4
転入後10年以上20年未満	18	18.8
転入後20年以上30年未満	11	11.5
転入後30年以上	14	14.6
合計	96	



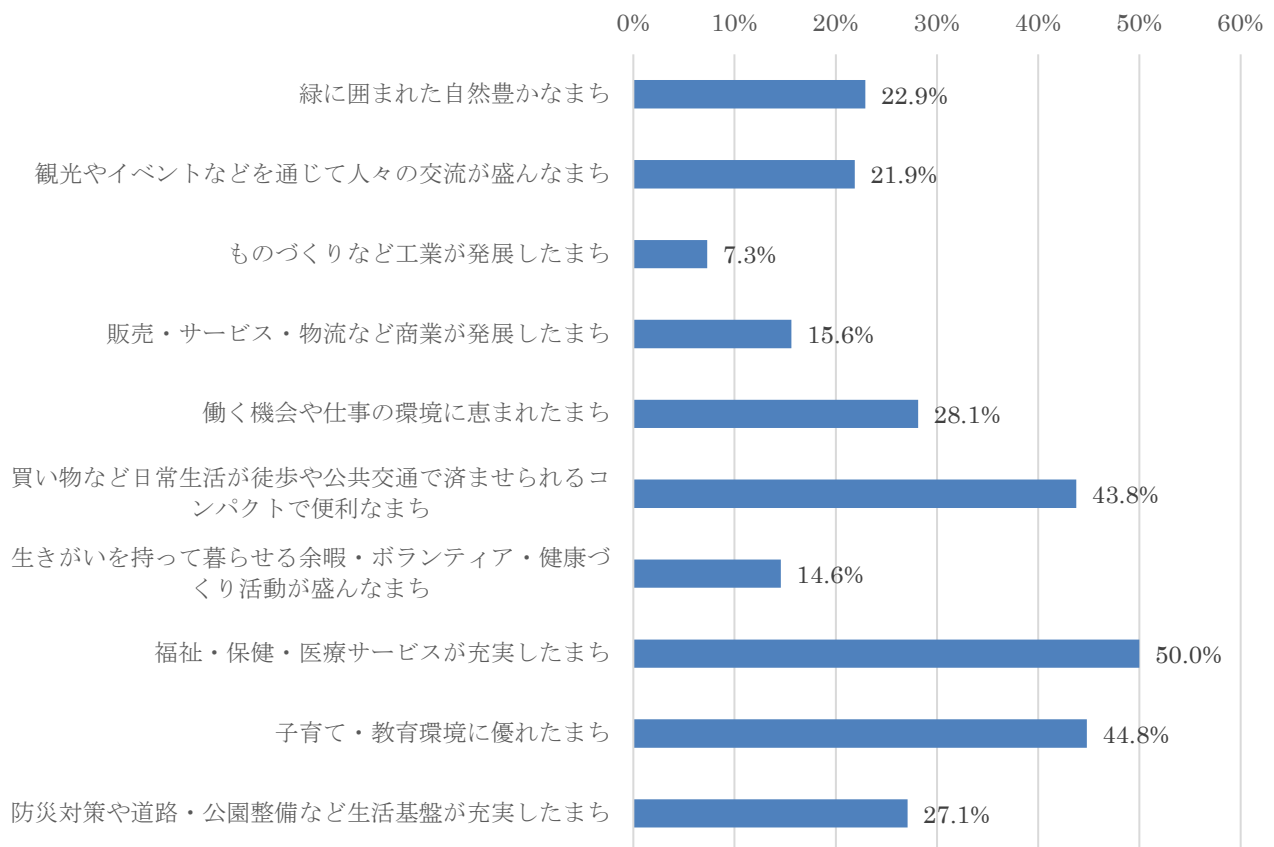
【3】あなたは、今後も豊川市にお住まいになりますか(1つ選択)

項目	回答数	%
ずっと住み続ける	35	36.5
できればずっと住み続けたい	33	34.4
住み続けざるを得ない	8	8.3
住み続けたいが移らざるを得ない	3	3.1
できれば移りたい	4	4.2
わからない	13	13.5
合計	96	



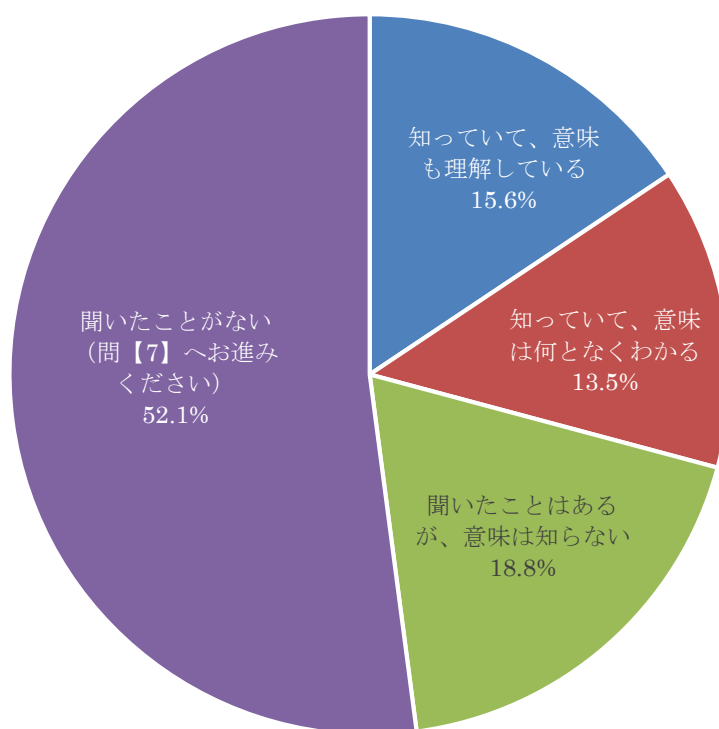
【4】あなたは、おおよそ5年後に豊川市がどのようなまちになってほしいと思いますか(3つまで選択可)

項目	回答数	%
緑に囲まれた自然豊かなまち	22	22.9
観光やイベントなどを通じて人々の交流が盛んなまち	21	21.9
ものづくりなど工業が発展したまち	7	7.3
販売・サービス・物流など商業が発展したまち	15	15.6
働く機会や仕事の環境に恵まれたまち	27	28.1
買い物など日常生活が徒歩や公共交通で済ませられるコンパクトで便利なまち	42	43.8
生きがいを持って暮らせる余暇・ボランティア・健康づくり活動が盛んなまち	14	14.6
福祉・保健・医療サービスが充実したまち	48	50.0
子育て・教育環境に優れたまち	43	44.8
防災対策や道路・公園整備など生活基盤が充実したまち	26	27.1



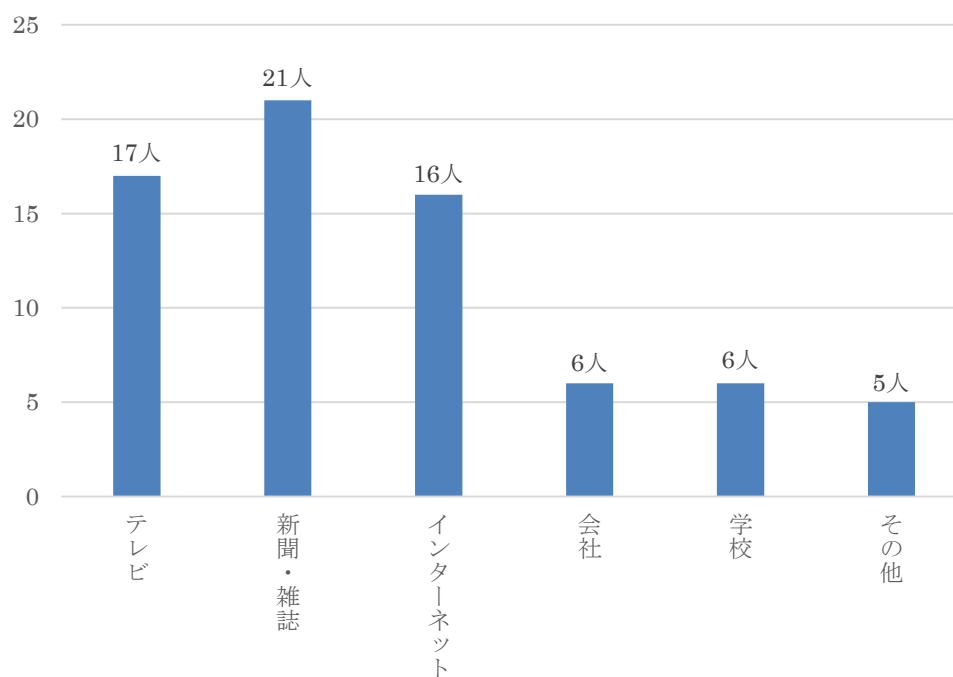
【5】あなたは、SDGs(「持続可能な開発目標」とは、2030 年までを期間とし、地球上の誰一人として取り残さない社会の実現をめざした全世界共通の目標)という言葉を知っていますか(1 つ選択)

項目	回答数	%
知っていて、意味も理解している	15	15.6
知っていて、意味は何となくわかる	13	13.5
聞いたことはあるが、意味は知らない	18	18.8
聞いたことがない【問7】へ進む	50	52.1
合計	96	



【6】SDGsという言葉をどこでお知りになりましたか(複数選択可)(対象者 46 人)

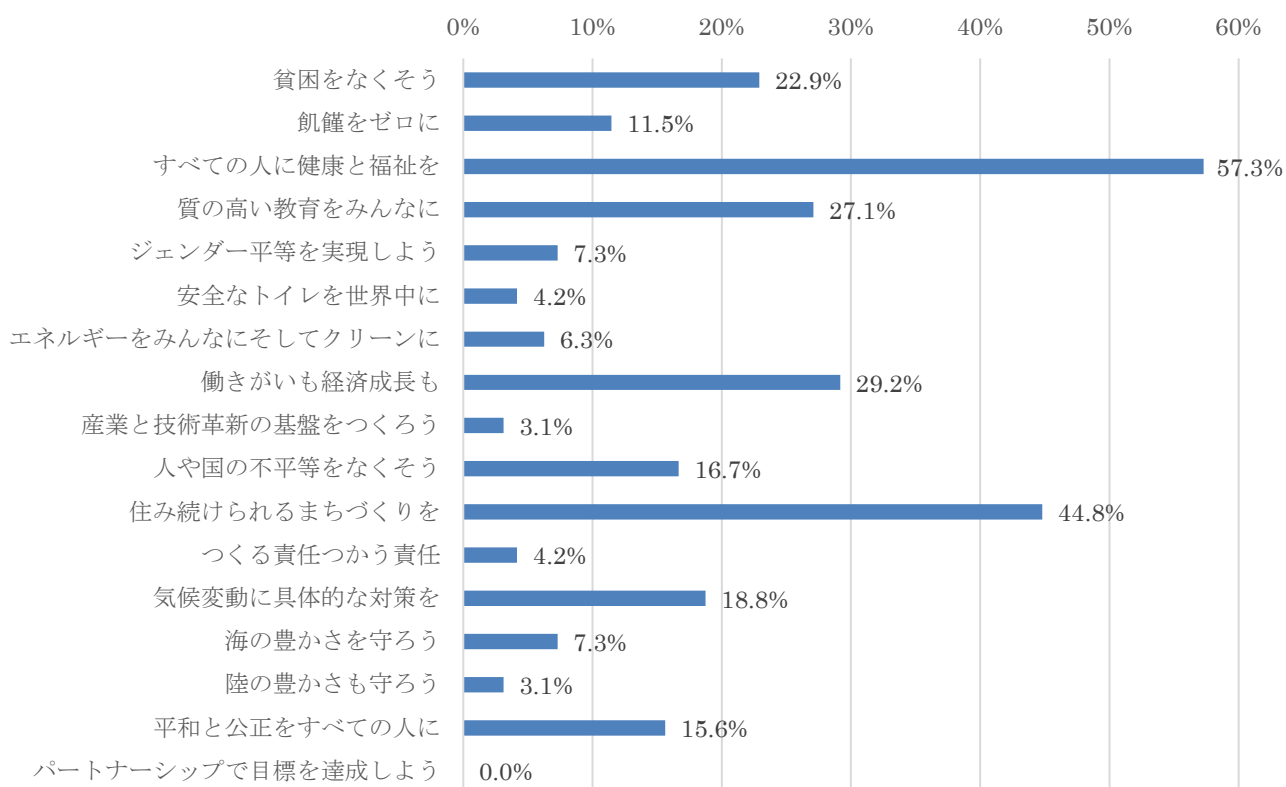
項目	回答数
テレビ	17
新聞・雑誌	21
インターネット	16
会社	6
学校	6
その他 ・豊川市主催若者ボランティア体験講座講師でもある米山哲司さんから、SDGsを 学び知りました ・所属している団体 ・仕事 ・YouTube(HELLOKITTY CHANNEL) ・研修会	5





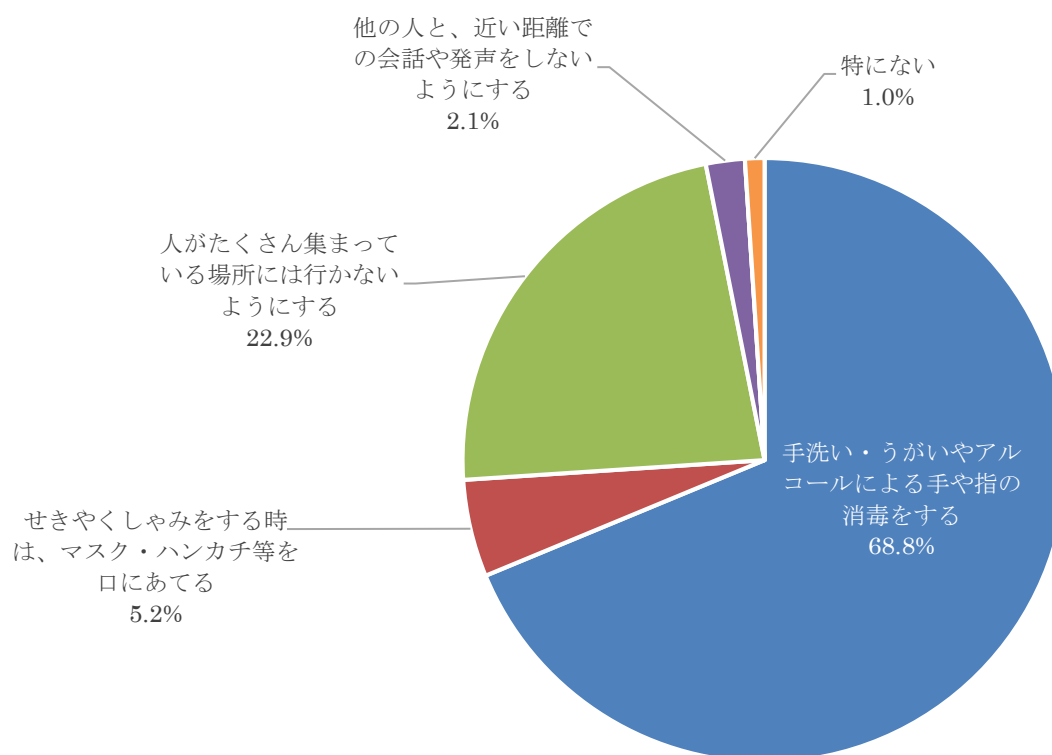
【7】SDGsの17の目標のうち、あなたが大切だと思い、豊川市に取り組んでもらいたいと思う目標は何ですか(3 つまで選択可)

項目	回答数	%
貧困をなくそう	22	22.9
飢饉をゼロに	11	11.5
すべての人に健康と福祉を	55	57.3
質の高い教育をみんなに	26	27.1
ジェンダー平等を実現しよう	7	7.3
安全なトイレを世界中に	4	4.2
エネルギーをみんなにそしてクリーンに	6	6.3
働きがいも経済成長も	28	29.2
産業と技術革新の基盤をつくろう	3	3.1
人や国の不平等をなくそう	16	16.7
住み続けられるまちづくりを	43	44.8
つくる責任つかう責任	4	4.2
気候変動に具体的な対策を	18	18.8
海の豊かさを守ろう	7	7.3
陸の豊かさも守ろう	3	3.1
平和と公正をすべての人に	15	15.6
パートナーシップで目標を達成しよう	0	0.0



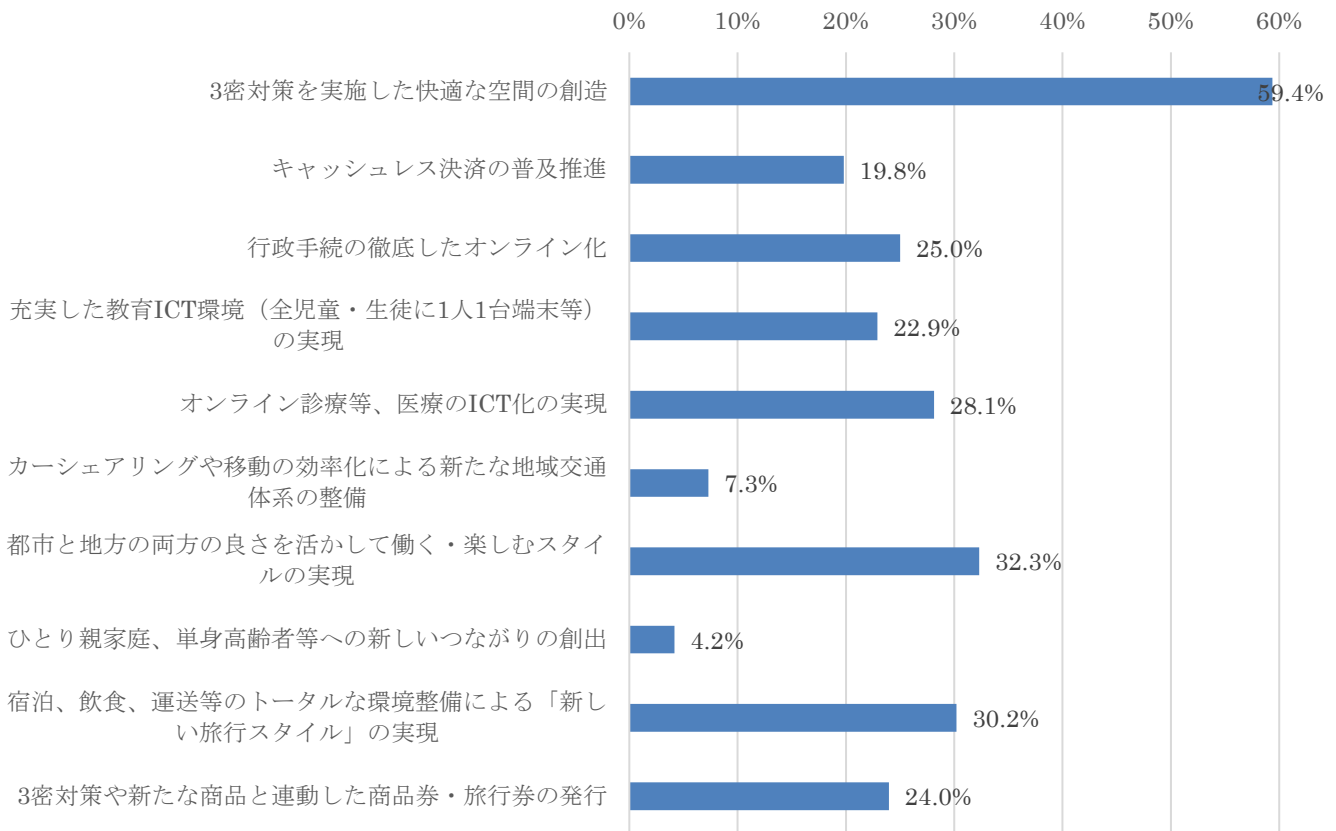
【8】あなたが、新型コロナ感染予防のためにしている取組のうち、最も重要視している取組は何ですか(1つ選択)

項目	回答数	%
手洗い・うがいやアルコールによる手や指の消毒をする	66	68.8
せきやくしゃみをする時は、マスク・ハンカチ等を口にあてる	5	5.2
人がたくさん集まっている場所には行かないようにする	22	22.9
他の人と、近い距離での会話や発声をしないようにする	2	2.1
仕事はテレワークにする	0	0.0
特にない	1	1.0
合計	96	



【9】新型コロナ感染症対策として必要と思う政策は何ですか(3つまで選択可)

項目	回答数	%
3密対策を実施した快適な空間の創造	57	59.4
キャッシュレス決済の普及推進	19	19.8
行政手続の徹底したオンライン化	24	25.0
充実した教育 ICT 環境(全児童・生徒に1人1台端末等)の実現	22	22.9
オンライン診療等、医療の ICT 化の実現	27	28.1
カーシェアリングや移動の効率化による新たな地域交通体系の整備	7	7.3
都市と地方の両方の良さを活かして働く・楽しむスタイルの実現	31	32.3
ひとり親家庭、単身高齢者等への新しいつながりの創出	4	4.2
宿泊、飲食、運送等のトータルな環境整備による「新しい旅行スタイル」の実現	29	30.2
3密対策や新たな商品と連動した商品券・旅行券の発行	23	24.0



【10】これからのまちづくりについて、アイデアやご意見がございましたら、自由にご記入ください

商業施設を増やす。魅力的な専門店を誘致して、大型モールを作る。他所からもっと人が来てくれるようにしないといけない。プリオみたいに駐車場含め、建物2つに分けたり、利用しづらい不便な施設は取り壊して新しい買い物しやすい商業施設を作ったらいい。住んでみて不便と思うのは、一通が多すぎる。すぐその道に出るのに一通のせいで大回りをさせられるので時間のムダをさせられる。踏み切りの渋滞を何とかしてほしい。高架を作るか地下を掘るか。姫街道をずっと4車線にする。

【女性議会を開催するアイデア】

- ・新城市で開催して成果が出ているから。
- ・市議会議員に女性の立候補が少ないから。
- ・女性は「責任あることは男性に任せればよい」と思い込んでいるから。
- ・モヤモヤしていることを言葉にして、意見を公の場で伝え「自分達の力で地域を変えていこう」という自立した女性市民を育てるため。

【子ども議会を開催するアイデア】

- ・「どうせ言ったってムダ」「相手にされないだろう」という豊川市民を育てないため。
- ・市政に興味を持つ大人を育てるため。
- ・議員になる大人を育てるため。

新型コロナウイルスの影響で、打撃を受けてしまった文化芸術活動への支援をお願いします。

豊かな自然環境、ボランティア、文化、子育て活動の市民、公共機関の施設など豊川市にある財産を新しい組み合わせ方で豊川市の魅力をつくってほしい。それを観光や地域の交流につなげていける様に。いなりんのキャラクターも可愛いアニメだけではなく、幅広い年齢の方に受け入れられる様なキャラクターの展開(水墨画風やポップアート風)を広げてみたら面白いと思う。全国に向けても新しいアピールになるかも。

教育の観点では、教師の質の向上のため、教師自身の性格改善の為の研修プログラムを充実させて欲しい。子どもたちを学校に預ける親としては、学校の教師のメンタルは子どもたちにとって身近であり影響を受けやすく、そのフォローを家庭でしているが、困難なケースが度々ある。

福祉について、豊川市では特に高齢者の移動手段が大きな課題となっている。車の免許を返納されたり、家族に車の運転を反対された高齢者は、車を手放した後急速に活動量が減り、認知症や要介護状態となる現状があります。この状況は実態の調査も必要になるかもしれないが、現場からの感覚的視点では強く感じている。はっきり言ってコミュニティバスは有効的な手段ではないと思う。コロナ等の感染症対策の観点からも、あまり推奨はできない。個人の活動は多様であり、個人特性(身体的側面)も様々な為、多様な移動手段の戦略が必要になる。例えば、高齢者に対し、四輪電動自転車のレンタルや普及活動、シニアカーのレンタルやシニアカーのイメージ打破キャンペーン等を考えています。シニアカーに至っては、介護保険では電動車椅子に含まれてしまい、活動の範囲から考えると少し足が弱ったくらいの方が必要なのに、使用ができない。自転車の活用については、豊川市内に安心して自転車が走れる環境がほとんどと言って良いほど、整っていない。道路の整備も併せて行っていく必要がある。高齢者の車の運転はほとんど市内の範囲レベルと思われるので、自転車が乗れる環境が整えば、クリアできると思われる。

公園の整備やスポーツ施設のバランスを考えたとき、圧倒的にバスケットボールコートが少ないと思う。豊川市内にプロバスケットチームの練習拠点があるのにも関わらず、誰もが気軽に使えるバスケットコートは公園にない。zip FM の小林拓一郎さんがバスケットコートをクラウドファンディングを活用して作って話題になったが、もっと増やしていけたら良いと思う。

経済的な側面では、豊川市はバラの生産が全国トップだという事実があるのにも関わらず、その認知度は非常に低く、アピールが不足していると感じている。豊川市をあげて、バラの町豊川として、バラ専門の施設を作れば東海地方から注目を集める事ができるのではないかと思う。施設は費用がかかるということであれば、豊川市でしっかりとバックアップしてバラのイベントをもっと派手にやっても良いのではないか。

赤塚山公園は市外からも子どもたちが遊びに来るほど人気がある。無料にこだわって施設を作った経緯を聞いたことがあるが、設備に限界があると思う。アクアト岐阜をモデルにして、有料施設の設置と赤塚山パークの拡大と連携をすれば、集客力が伸びるのではないか。有料施設については、市内に有料の遊具が全くない。イメージで言えば、刈谷の交通児童遊園のような、ちょっとした遊園地のような設備だ。赤塚山には交渉できそうな土地はありそうなので、隣接して整備すれば、市内だけでなく、市外の子供たちも大変喜ばれる環境になる。

また、近くにある平和記念公園、新しくできた野球場、サッカー場と組み合わせ、道路の整備をすれば、子育て教育スポットになるのではないか。

今まで気づけなかったが、豊橋へ引っ越すことになって、豊川が住みやすい町だと気づいた。一番はごみの捨て方。無理なく分別できる部分があるが、豊川のが良い。分別が多ければ多いほど苦勞して『少しはいいか』って気持ちになりかねない。それに、住んでいる町によるが、豊川のごみ捨て場が綺麗。ごみ収集車が来たあとも散らかっていないし道路も綺麗。地域の方なのか作業員の方なのかわからないけど、とても重要なことだと思った。

在宅勤務が増えて、クルマを、週2、3回しか使わなくなりました。クルマの所持を見直しておりますが、バスが充実していないので、買い物等不可能です。オリンピックに運用するはずだった、無人のバスを豊川に取り入れてはどうでしょうか？

どこに誰が住んでいるかわかりやすいことで各家庭に対してネット環境の提供又は地域の代表者による見守り等によって住民と行政、医療との関係が密な状態の町づくり

R23開通、イオンモール開業の2つが着目している大きな事業です。実現してより暮らしやすく発展し続けることができるのか、一市民として見守り、協力していきたいと思っております。

AEON が出来て、雇用も、経済も発展して、豊川市が元気になって欲しい。もっと便利な住みやすい環境にして欲しいです。

電子申請、電子決済を充実させてほしいです。剪定ゴミを資源ゴミとして処分できないでしょうか？月間クルクルを廃止してジモティーに投稿した方がよいのでは？特に冊子版は文字だけなのでどんなものかイメージできない。

<p>道の駅を豊川市にも整備してほしい。実際に議会では議題に上がっているようだが、実現には至っていない。豊川に隣接する豊橋、新城、田原、岡崎市には、それぞれ特色のある道の駅が存在する。国道1号線や23号線、高速道路など主要な道路網が整っている豊川市だからこそ必要なのではないかと考えている。単なる休憩場所や買い物の場として終わるのではなく、地域と交流を図る地域連携や、観光情報発信の場として人気を博し、年々、道の駅の登録数は増えているようである。高速道路のサービスエリアと異なり、地域の中にあり誰でもアクセス可能な点、幹線道路沿いに設置される道の駅の立地特性の観点から考えると、災害時の物流拠点や避難場所としても活用できるのではないかと考える。ぜひ検討していただきたい。</p>
<p>このコロナが終結したら、数年前に開催した B-1グランプリのような、多くの方が集うような大型イベントが開催できると良いと思います。また、舞台芸術にもっと注目して、子ども達が参加できるようなワークショップなどを通して、創造団体と交流できると良いと思います。そのためにも、各ホールの存続を願います。</p>
<p>・市街地の中心部が分散しているため、選択と集中を徹底してはどうでしょうか。</p> <p>・教育・医療に注力してもらえると嬉しい。</p>
<p>ずっとハクヨさんが市のスポーツ施設を委託されていますが、マンネリ化しているところもあるので、スポーツボックスさんなど他の会社も参入していただけると良いかなと思います。</p>
<p>豊川稲荷の周辺のお店はシャッターで閉まっているお店が多く、街が死んでいます。伊勢神宮周辺にあるおいでん横丁みたいな、街が活気ある街づくりが必要かと思います。今はマラソンブームです。豊川シティーマラソンは、ただガチで走るではなく、ユーモアを取り組んだマラソン大会を開催すれば、全国から参加し、宿舎も潤うかと思います。例えば名物の稲荷寿司をエイドで開設するのも参加者が増えるかと思います。稲荷寿司を全面にアピールを出すマラソン大会はいかがでしょうか？</p>
<p>コロナ禍で直面した与えられたことを慣例に基づいて…と言うことを基盤とした活動はある意味今後の生きる力に繋がると思うので、教育面でピンチをチャンスに変えるためのディスカッションをする良い機会と思います。</p>
<p>自然豊かなエリアと都市部エリアをはっきり分け、都市部エリアの渋滞緩和</p>
<p>カーシェア等の移動手段やMaasについては、【9】で挙げられていたコロナ対策というよりも、恒常的に今後の生活において考えていけない事だと思います。大学時代は名古屋に住んでいましたが、名古屋と比べてどうしてもバス等の公共交通機関が弱いです。しかし人口的にそれは仕方ないことだと思っています。公共交通機関を伸ばせないなら、他の方法で交通の便をよりよくしていく必要があると思います。また、高齢者の運転の問題も市や県だけではなく、日本中の問題としてあがっています。車ならば電車やバスのように立って我慢することはないし、駅から目的地まで歩かなくて済む。でもタクシーはお金がかかる、家族の人も仕事等で忙しい。そう思って車を手放せない方が多いのではと考えています。全ての世代が移動に対して恐怖や不便を思わないようにするには、移動手段について皆で考えていく必要があると思いました。</p>
<p>文化・芸術などのイベントを増やし潤いのある町になって欲しい。</p> <p>昨今は難しいとは思いますが、近隣で孤独死があったにも関わらず、私はしりませんでした。この現実には悲しいです。町や近隣でコミュニケーションがとれる豊川市になれることを希望します。</p>

豊川市は土地的には住みやすく、商店や病院、学校なども充実していて良いのに、県内の他市に比べて色々と遅れている。

障害者手当や福祉系サービスは最小しか無いし、小中高の行事の取り組みも相変わらず未だに熱中症の多い真夏に運動会が行われていたりする。そのせいで必然的に練習するのも40度超えるような猛暑日になるし、命の危険があるのでもうそろそろ大幅に時期の変更をすべきと思う。子供の命が犠牲になってからでは遅い。

制服は指定ですが、体操服は他市なら色と形のみ揃えればどこで購入しても良いという形を取っているのに、豊川市は市内の指定店舗のみで、質が良いわけでもないのに超高額の販売価格。T シャツ1枚で5,000円とか高すぎます。子供は大人と違って毎年のように成長するのですぐにサイズが変わるし、汚すし、すぐに破れる素材なのも困る。気軽に買い替えられない。

ゴミ収集に関してだと、毎週燃えないゴミの日になると市内を外国人とみられる人たちが軽トラでゴミ収集場を周り、金目になりそうなものを全て持ち去っています。以前、市役所にその旨を伝えて対策を、と依頼したがそれを取り締まる決まりが無いから何も出来ませんと言われた。

もしその無断で持ち去る人たちが不必要と判断したものをどこかに不法投棄し、例えば記名のあるもの(例えばステンレスの子供用の水筒など)だった場合、その不法投棄をした犯人扱いされるのでは??

コロナ対策も、あまり感染者が出ていないからといって他県や他市に比べると対応や、対策があまりにも少ない気がする。

道路の歩道部分は、ガタガタで段差のある場所ばかりで自転車でも走りにくいし歩いていても蹴つまずくような所がたくさんある。お年寄りが乳母車を引いて歩こうとしていても、引っかかっていたり段差がとでも移動しずらそうにしているのを見かける。市内を走るバスも使い勝手が悪く分かりづらい。運転手さんも荒い運転(急ブレーキ、急ハンドル)する人が多いので乗っていて怖かった。細かな部分への配慮が行き届いていないなあと感じる。

地球環境の保護を最優先にした、安心安全のまちづくりが急務。ゴミ問題の解決に真剣に取り組み、清潔で美しいまちづくりが肝要。

豊川といえば、というものの、場所があまり認知されてないので、豊川稲荷周りの商店をもっと魅力あるお店にしていいたいと思う。ぎょぎょランドも子供が大きくなったら(小学生)あまり行かなくなったので、土日に行こう、と思える場所にしたらいいと思う。フリマとか市場が定期的に大々的にあるといい。

公園や、児童館の充実。

●東部小学校校区に児童館が欲しい。

151線を越えて桜木児童館や牛久保児童館までは遠い。

●御油の松並木公園は階段しかないのでスロープのように車椅子やベビーカーが入りやすいような作りをして欲しい。

子供達の未来の為に政策に力を入れてほしい。

地域のつながりを大切にしたい。何かあった時に頼れるのは遠くの親族より近所の人たちだから。

<p>歩道がでこぼこしているところがあり ベビーカーをおしてだとベビーカーが運転しづらいので歩道の整備をしてほしい。歩道の植え込みが邪魔で自転車通しのすれ違いが困難なためせまい歩道の植え込みをなくしてほしい。佐奈川の、桜トンネルの桜が垂れてきていて 歩きや自転車で通るときに時々桜の枝にぶつかって 転んでいるのを見たことがあるので 枝の整理をしてほしい。</p>
<p>福祉関係など、使える制度を教えてくれなかったり、人によって態度変える職員が多すぎる。</p>
<p>無料 WiFi スポットの充実したデジタル化の進んだまちづくり。防犯カメラ等の設置による安心安全なまちづくり。</p>
<p>小坂井町の倉屋敷に住んでいますが、徒歩圏内で子供が遊具で遊べる公園がありません。(飯田線の小坂井駅の近くにあった天神様の遊具も撤去されました)子供達が安全に楽しく過ごせる場所を「身近に」もっと作って欲しいです。これからの時代、生活範囲を狭めなければならない出来事がたくさんあると思います。感染症や災害など。そんな時に自分の住んでいる街で快適に暮らせたなら良いなと思っています。</p>
<p>僕は学生ですが、豊川市の良さを市外に出て知りました。県外の高校や大学に行く学生の背中を押す『ハバタケ補助金』みたいのがあると良いです。背中を押してくれる、そんな補助があると故郷の良さを忘れることなく愛着を持ち続けることができると思います。</p>
<p>災害に強い町になるように市民の意識を高めるためにも防災センターが休日は団体客だけが観れるのではなくて個人でも気軽に観れるようにしてほしい(違っていたらごめんなさい)。山間部、河川の危険地域の対策も進めてほしい。</p>
<p>高齢者が利用できる施設がコロナで閉鎖。ふれあいセンター、いかまい館等部屋が空いてるが利用不可。空いてる部屋の活用方法を提案したい。熱中症注意ならエアコンのない方を一時的に利用できるようにするとか(台風洪水での避難以外にも利用できるように考えられないかなと思います)コロナで高齢者が外出できず体力低下、痴呆傾向等とテレビ新聞で報道されています。まちづくりにスポーツ施設、子育て支援はよく出てきますが高齢者用に閉鎖しない施設の仕組みができますように。</p>
<p>具体的なアイデアは思いつかないが、高齢化に伴い従来の生活環境(町内会、催し等マンパワーが必要とされる全ての事柄)が崩れようとしている、この辺りの対応や対策を早急に進める為の改革の後押し。</p>
<p>若い世代が豊川で生活したいと思える街にしてほしい。豊川に住み始めた頃、車がないと生活がなりたたない街は不便だと感じていた。高齢者が増えた今は巡回バスが運行しているが、あまり利用者がいないのであれば、乗り合いタクシー等でも良いのではと思う。</p>
<p>町内会の清掃行事など参加してみたい気持ちはあるのですが、集合場所などのアナウンスが音割れしていたり、朝の慌ただしい時間だったりで内容が聞き取れません。メール配信の要望も出ていたものの、通信費等の問題があり、導入できないそうです。夫婦ともに市外出身で、気軽に尋ねられるお宅もありません。とよかわ安心メールのシステムを使ったり、各町内会のホームページ作成を支援したりは出来ないでしょうか。文章でじっくり確認できれば、外国人の方もわかりやすいはずです。転入者や外国人の方が気軽に行事に参加できるようになれば、住民同士のつながりができ、より住みやすい街になると思います。</p>
<p>豊橋は、こども発達センターがあり、心配な事があればそこで大体はみてもらえます。10年前、息子がアスペルガーと診断おけるまで、とても道のりが長く大変でした。そして今、娘はグレーゾーンになって</p>



いて、ST の先生が豊橋のこども発達センターを紹介してくれましたが、豊川の方はみれないと断られました。今現在、さくら病院の小児精神科の新患募集を再開されるのを待っている状態です。豊川は、一部の子供含め親にあまり優しくないのかなと思ってしまいました。

豊川市の感染状況を具体的にかつリアルタイムで知りたいです。

厳しい意見になりますが、他の市に比べ、ゴミ集積所や商業施設の駐車場等において利用者のモラルの低さを感じる事が多くあります。住みやすさに甘えている部分があるかと思いますが、今一度意識を改めることも必要かと思っております。そして、孤立しやすい高齢者や子育て世代、またその他の年齢に限らずですが交流できる場が多くあると良いと思います。コロナ禍では難しいですが、一部負担にて日帰り旅行や公園でのイベント、高齢の方とファミリー層が交流できるイベント等、人が繋がっていけるコミュニティが形成されると災害時にもうまく働いてくれるものと考えます。

市民の声を聞いて少しでも反映させてくれたらいいです

豊川市が発展することは嬉しいですが市民病院の周りに文化会館、イオン等出来る予定なので交通混雑が心配です。

豊川市は非常に住みやすく人も温かいです。不満に思うことないあまりございません。豊川稲荷があるのももう少し観光業に力を入れるといいのでは？と思いますがあまり他県からの流入は治安維持の為、好みませんので現状維持でも構わないです。